

市民ワークショップ総括

緑地環境の専門家、加我先生（大阪府立大学大学院教授）より、全3回の市民ワークショップの議論の総括と、今後のアドバイスをいただきました。



元茨木川緑地には、市のシンボルとして、人の手と財源をいかにつぎ込めるのかが、今後の検討課題だと思います。元茨木川緑地では、どのような樹木の状態が気持ちいいのかの目標像を共有し、それを市民の財産として、市民が誇りを持って維持していけるのかを考えることが大事です。

人の手をかけて手入れがされている樹木は、今年の台風21号の強風※①を受けても倒木がなかったようです。元茨木川緑地の樹木の成長状態を診断し、樹高が高い木を樹形を保ちながら、適切に剪定できる技術者が多くおられます。樹木の剪定技術の導入に加えて、市民の関わりがあれば、市の財産として、誇りに思える元茨木川緑地になると思います。

市民が心地よく歩け、市民の生活に溶け込む緑の道として、1974年（昭和49年）から1988年（昭和63年）にかけて整備され、維持されてきた元茨木川緑地を、これからの人々に引き継いでいくために、今の私たちが、どのように関わればいいのかを、今後考えていくことが大切だと思います。

※① 大阪府下の気象観測所において最大風速を更新

茨木小学校の子どもたちからの提案

茨木小学校の児童の皆さんに、未来の元茨木川緑地のアイデアを、絵に描いて提案していただきました。

未来は、「今よりもっと人が集まれるところ」という提案をいただき、おしゃれなベンチやカフェ、ガラス製の休憩施設、インスタ映えする噴水など、大人顔負けのアイデアをいただきました。

今の元茨木川緑地に対するイメージも教えていただいたところ、「自然が多くきれい」「木が多い」「日陰多くて涼しい」という自然が多いイメージがある一方、「暗くて怖い」「歩いている時に自転車が危ない」と危険なイメージがあることもわかりました。



市民ワークショップにご参加くださった皆様、ありがとうございました。実状、本音、夢、いろんなアイデアを話し合ってくださいました。これまでの市民ワークショップの議論を踏まえて、元茨木川緑地のリ・デザイン計画づくりを進めてまいります。

【お問い合わせ先】 茨木市建設部公園緑地課 TEL：072-620-1654

次なる元茨木川緑地プロジェクト // NEWS //

第3回市民ワークショップ開催！

“次なる元茨木川緑地”を考える「市民ワークショップ」の最終回、第3回目を開催しました。ゾーンごとに、リ・デザインのイメージ案のスケッチを見ながら、“こんなふうに使いたいなあ”、“もっとこんな場所にしたいなあ”と、具体的なすどし方や場所のイメージを話し合いました。

開催概要

日時：平成30年10月14日（日）10:00～12:00
場所：ローズWAM 5階 研究室501・502



左上写真：1班の様子 右上写真：2班の様子
左下写真：3班の様子 右下写真：加我先生による総括の様子

サクラと憩いのゾーン（中央図書館付近）は・・・



こんなふうに使いたい！

「中央図書館で本を借りて、木陰で読書や散策。」「親子で利用。」
「野鳥を鑑賞して楽しむ。」「小学校や幼稚園が、自然観察会などをできる。」
「お花見を楽しむ。」「自転車が通らず安心して利用できる。」

もっとこんな場所にしたい！

「老木化したサクラを植え替える。」「サクラ以外の樹木もあれば。」
「サクラの下を芝生化。シバザクラもよいのでは。」
「木のチップを敷いた場所や園路。」「雨の日でもすごせる屋根。」
「運動できるスペースや遊べる広場。」「災害用のトイレがあると安心。」

気になることも・・・

「根を痛めないように提案されているウッドデッキは、木製だと痛みやすいし、維持管理が大変なのは。」

文化・交流シンボルゾーン（川端康成文学館前付近）は・・・



こんなふうに使いたい！

「樹木の下ベンチで本を読んだり、ランチをしたり、休憩したり。」
「文化をテーマにしたイベント会場に。」「子どもの環境学習の場に。」
「ケヤキの木陰で気持ちよくすごす。」

もっとこんな場所にしたい！

「バラのアーチを美しく！」「草花も欲しい。」「ヤエザクラもあれば。」
「巣箱の設置。」「元茨木川が河川だったころの様子わかる施設があれば。」
「“樋”の説明板を。」「雑貨店やカフェを誘致できないか。」
「川端康成の作品のワンシーンを再現するのもよいのでは。」

気になることも・・・

「サクラを圧迫しているカシノキは間伐する方がいいのでは。」
「園路の水はけがもっとよくなれば。」

文化・交流シンボルゾーン（東中条付近）は・・・



こんなふうに使いたい！

「美しく明るくなった空間で、ベンチや芝生の地面に座ってゆっくりする。」
「複数人が一緒に談笑できる。」「子どもが遊んでいる姿を安心して見守れる。」
「枯葉の活用が考えられないか。」「マナーを守って安全に自転車を利用。」

もっとこんな場所にしたい！

「明るくて見通しを良く。」「丈夫なハイブリッド芝生や市花のバラ園があれば。」
「親水性の舗装に。」「中央公園との行き来がよくなれば。」
「自転車を気にせずに歩ける場所を増やす。」「自転車道があれば。」
「図書コーナーを設けてはどうか。」

気になることも・・・

「基本は遊歩道で、自転車道ではない。」「犯罪がおきないように。」「災害で倒木があった箇所は、新たに樹木を植えてはどうか。」「モニメントの撤去や新設は市民投票で決めればどうか。」「下水処理場の匂いを感じる時も。」

サクラと暮らしのガーデンゾーン（あやめ橋付近）は・・・



こんなふうに使いたい！

「レジャーシートを敷いて花をめでたい。」
「市民が手入りに参加する手作りの花壇“オープンガーデン”。」
「湿地のピオトープがあって、老人が子どもにレクチャー。老人も懐かしんで観察している。」「地域住民による利用活性化。」「水景施設の活用。」

もっとこんな場所にしたい！

「アヤメとショウブを植えたい。」「クチナシやキンモクセイを楽しみたい。」
「サクラに名札を付ける。」「サクラの根元の土留めや、老いたサクラの伐採。」
「ベンチを増やしてきれいに。」「水景施設の復活。」

気になることも・・・

「花の植栽は維持管理が大変。」「佐和良義神社の周辺をもっときれいに。」

庭園・レクリエーションゾーン（梅園付近）は・・・



こんなふうに使いたい！

「ウメ、オリーブの収穫祭を開いては。」「静かに落ち着いた場所で、本を読む。」
「お弁当を持って子どもとピクニックがしたい。」

もっとこんな場所にしたい！

「梅林をもっと活かせたら。もっとPRを。」「日本庭園の復活を。」
「サクラを圧迫している樹木の間伐が必要では。」
「今後の気温上昇を考えると緑が多い方がよいのでは。」
「樹木の説明板があれば。」「太鼓橋の復元を。」「園路の補修を。」
「民家から離れているので、バーベキューエリアを設けては。」

気になることも・・・

「工場の騒音や臭いを感じる時がある。」「早朝や未明に若者がタバコを吸いにきているときもある。」「交通機関が便利になれば。」「自転車道がある方がよい。せめて自転車を押して歩いて欲しい。」

全体的な意見

植栽について

「落ち葉の処理や樹木の伐採について、市民のコンセンサスが大事！（良い、悪い両方の意見があり）」
「桜は咲く時期が違うものをゾーン毎に分けてはどうか。」「緑地の木をクリスマスツリーにしては。」
「新しい市民会館と緑地の一体感を大切に。」

施設について

「水の流れは癒しになるので、復活を。」「ゾーンごとに歩道の色を変えてはどうか。」
「ゾーンのネーミングを考えてほしい。」

歩きやすくするために

「車椅子が通りやすいように。」「目の不自由な人のことも考えてほしい。」
「自転車道をつくらなくて、マナーだけではだめ。」「監視カメラも必要か。」